

# ハードディスク内蔵の精密部品で 世界シェア約40%を誇る

日本スーパー工業株式会社

全国  
21

関西  
21

ISO 9001

<http://www.nippon-super.jp/>



図面を書き換える提案で  
よりよいものづくりを

パソコンの記憶装置、ハードディスクドライブ(HDD)にはモーターに接合するハブと呼ばれる精密部品が内蔵されている。日本スーパー工業は2.5インチHDD内蔵のハブ製造量で世界シェア約40%を占める企業だ。さらにハブに付属するヨークというパーツの世界シェアは約85%に達している。

同社は、設立からまもない時期はカメラの部品製造などに携わっていたが、昭和50年代からビデオデッキのモーターなどの製造に参入、数ミクロンの精度が求められる切削技術を蓄積した。現在はHDDのハブ製造を主体に、自動車のエアバッグのサポートプレート(ガス発生器)や、デジタルコピー機のパーツなども製造している。

同社の強みのひとつとして、取引先との間に構築された深い信頼関係が挙げられる。「図面どおりのものを作っている」というものを安く作る

れません」と広瀬社長は言う。同社では技術者が取引先での設計段階からかわってアイデアを提供する。「よい製品のためにどんなモーターを作るのか、そのために何が必要かということをお客さんに提案します。ですから図面をもらうのではなく、図面を書き換えて、当社の力を発揮していくわけです」。

## 加工機や工具の自社開発で 国内工場の量を維持

現在、同社ではデスクトップパソコンに使われる3.5インチHDDをすべて海外工場で生産(月産約1800万台)、ノートパソコンや携帯端末に使われる2.5インチHDDのほとんどは国内工場で生産し、月産約1200万台を維持している。競合他社ではなれない国内での量を可能にしているのは、同社が加工機や工具の自社開発によつて、製品の高付加価値化とコスト削減を達成しているからだ。

2.5インチHDD用ハブの加工機は自社開発のソフトを搭載。機内寸法測定によつて製品の補正を自動的に行い、ハブの内径の誤差±0.3ミクロンという精密さと、完成品の仕上がりがまで32〜33秒というスピードを実現している。また、自工具のドリルやエンドミルなどの特殊刃物、金型部品も自社で開発し、ドリルなどについては外販も行っている。

現在はHDDハブ製造のウエイトが高い同社だが、将来的には精密加工技術を生かして新分野の模索も始めたいという考えだ。「作った部品だけでなく、部品づくりのノウハウの販売もできるようにするのが当社の夢です」と広瀬社長は語る。



## Company Profile

日本スーパー工業株式会社

住 所 / 〒590-0132  
堺市南区原山台  
5-12-1

創 業 / 昭和36年4月  
設 立 / 昭和36年4月  
資本金 / 9,950万円  
従業員 / 256名  
T E L / 072-293-1666  
F A X / 072-296-1690

### ■主な事業内容

コンピュータハードディスクモーター部品、高性能デジタルコピー及びレーザープリンタ用レーザー伝達製品、自動車部品、特殊刃物・ドリルの製造及び販売等

### ■主な取引先

精密モーター製造会社、自動車部品製造会社等

## 当社のセールスポイント

IT技術と融合しながら  
他社にはできない  
精密加工部品を探究。



代表取締役社長  
広瀬 憲三さん

当社は単に精密加工部品を作るだけでなく、製品データ収集の自動化など、IT技術と融合することで、確実な品質保証を行い、生産性を上げていく努力を重ねています。私たちにしかできない精密加工技術を持つこと、そしてそれをさらに研鑽することを主眼にして、これからも他社にできないものづくりを進めています。